

25		森の宝物さがしビンゴゲーム ～自然の宝物を探しながら楽しむビンゴゲーム～	
主なねらい ◎自然とのふれ合いを深める ◎自然に対する観察力を養う		適 期	通年
		所要時間	1時間程度
		対 象	小学校低学年～
準備物	学校・団体	自然の家	
	野外活動のできる服装、セロテープ えんぴつ、軍手、ビニル袋 (必要に応じて時計)	ビンゴゲーム用の用紙、虫眼鏡、 生活科バッグ	

## 1 活動の方法（説明）

### (1) スタート前

①参加者全員にビンゴカードを配る。（グループで行う時は、グループ分）

※マス目は、標準で5枠×5枠です。

②枠の中に「森の宝物」を一個ずつ書き込む。

（書き込む場所は、各自で自由です。）

③枠の中に記入する「森の宝物」の内容は、自然に対する観察力を養うため、動植物の名前よりも、動植物の具体的な特徴を書き、その特徴をもったものを探すという方法が好ましい。

例：とげのある茎、いいにおいのする花・葉、自分の手のひらよりも大きな葉、動物が出た穴（トンネル）、クモの巣、赤い花・青い花等、ウグイスの声、ギザギザの葉、カエルの声、水の流れる音、セミの声、ありの行列、木の実、せみ（へび）のぬげがら、カッコウの声、虫の食べ跡、洋服に付く実、鳥の羽、うらが白い葉、自分の身長と同じ長さのススキ、まんまるの形の物、船や笛が作れる物、コケの付いている岩（石）、動物の足跡、動物の卵、二股に分かれている木、きのこ、木や葉の色に似ている動物等

※だれもが簡単に発見できる物も2～3個は入れるようにしてください。

④ビンゴゲームのやり方を簡単に説明する。

・自然学習のゲームであること。

※自然をできるだけ傷つけないように注意しましょう。

・縦、横、斜めのいずれかの枠を全部埋めるようにがんばる。

・縦、横、斜めのいずれかの枠を全部埋めてゴールしてもよいし、多くのビンゴを完成させてゴールしてもよい。

※点数制のゲームとして実施することも可能です。

[ビンゴ1つ…10点、ポイント1つ…1点]

### (2) 森の宝物さがしに出発

・宝物を発見したら、ビンゴカードのあてはまる箇所にマル印をつける。

・場合によっては、証拠となる物を張り付けたり、スケッチしたりする。

(3) ゴール後

- ・ビンゴ用紙を提出して、指導者から確認を受ける。

(4) 事後指導

- ◎「いくつビンゴができたか」というようにして、ビンゴの数を聞く。
- ◎途中で発見した宝物の話をみんなですべて、「森の宝物」を紹介しあう。

◇ 発展活動例

- ・指導者が全員に宝物の課題（ビンゴ問題）を提示するのではなく、グループ対抗で、相手のグループに与える課題をそれぞれのグループに考えてもらい、その課題を探すという方法もある。

☆ 参考ビンゴ例

《25マス用》

詳細はホームページ参照

<b>ギザギザの葉</b>	<b>クモの巣</b>	<b>ウグイスの声</b>	<b>虫の食べ跡</b>	<b>動物の足跡</b>
<b>鳥の羽</b>	<b>赤い花</b>	<b>まん丸の形の もの</b>	<b>二股に 分かれている木</b>	<b>あいの行列</b>
<b>うらが白い葉</b>	<b>いいにおいのする 花</b>	<b>一人が一つ ゴミを持ち帰る</b>	<b>動物が出た穴</b>	<b>コケの付いている 石</b>
<b>鳥の巣</b>	<b>赤い実</b>	<b>動物のぬけがら</b>	<b>ちょう</b>	<b>カエルの声</b>
<b>白い花</b>	<b>水の流れる音</b>	<b>自分の手のひら より大きな葉</b>	<b>カラスの声</b>	<b>ツバメ</b>

※これと同じ内容のビンゴカードは、自然の家にも用意してあります。

よろしければ、ご活用ください。